31 de Agosto de 1919 No. 101

Noticias do Brazil

大正八年八月卅一日　日曜日　第百一號

伯和西爾時報

NOTICIAS DO BRAZIL
Publicado semanalmente
Rua Martiniano Carvelho
No. 26 Sob.
Caixa Postal H
Tele. Central, 2778
S. Paulo, Brazil
Proprietario e editor
Seisaku Kuroishi

Assignaturas
por Anno ——— 10$000
„ Semestre ——— 5$500
„ Mez ——— 1$000
„ Semana ——— $800

天長節

本日は今上陛下第四十一回の御降誕日であつて、誠に欽仰すべき佳節である、而かも炎威赫然、人猶ほ暑を避くるの候なるを以て、宮中の祭典を行はるゝのみにて、祝典は十月三十一日に定めらせらる、故に之に準じて、軍隊の觀兵式も、學校の奉賀式も將た在外公館の遙拜式も、本日一切之れ無し、尤も伯國は氣候に於て大なる異ひあるも、特に祝日を十月三十一日と定めらせらる以上は、吾々も亦之に從ふの至當なるを覺ゆ。

猶ほ此の意義を明瞭にせんが爲め吾輩が昨年の天長節に於て述べたることを再錄すれば『虔みて按ずるに今上陛下の御降誕は八月三十一日にして、此の日は天長の佳辰、我が七千萬の民衆打つどひて、祝賀すべき大紀念日なるも、此の日は處暑の後一週日、白露の前一週日餘、兩節の中間にして暑威未だ去らず、且つ二百十日の大切なる日を前に控へ、農民の戒心一刻も緩うすべからざるの時、祝日としての御儀式は却つて誠意の添はざるものありとして、此の日は宮中の御定めに準じ、單に陛下の御誕辰を紀念し奉り、更に十月三十一日を以て、天長節の祝典を擧ぐることゝなれり、然れど伯國の氣候と、在留同胞の情態とは、母國と大に其の趣きを異にして、天長の佳節を奉祝するに、却つて八月三十一日は行樂に適ふが如きも、特に祝日を十月三十一日と定めらせられ、公使館及び領事館も此の日を以て拜賀式を行はるゝことなれば、當地在留の吾々も亦天長節の祝典を十月三十一日に期すべく、而して本日（八月三十一日）の佳辰は、御儀式を省きて、家庭團欒の裡、敬虔に祝祈するの適宜なるを思ふ』と云ふのである。

今上陛下は御仁慈に富ませ給ひ、恒に民の心を以て國を治むるの基と亦聖意の在る處を了得し、形式よりも寧ろ內的に重きを置き、天長節の大紀念日に對し奉りては、心に深く聖德の有難さを感佩し、以て陛下の萬歲を唱ふべきである、且つ又陛下は恒に平和を好愛し給ふを以て這般の平和會議に對し、特に重臣西園寺侯を派遣して其の會議に列せしめ、啻に國際聯盟に贊意を表せしむるのみならず、進んで人類平和の根本問題たる、人種平等待遇案を同會議に提出せしめ給ふたのである、而かも英、米の委員之を容れざる處より、遂に同案が通過の運びに至らざりしも、我が帝國の同案提出は、慥かに恒久平和の精神を表明したるものである。

陛下が世界の平和を念とし給ふかを、此の一事に於て瞭かに拜察せしめ得たのである。

併しながら國際の關係は、今日の處未だ正を正として、其の正を實行するまでに道德觀念が進歩してゐない、故に我が國は世界平和に對し、如何に正義を主張するも、他國が之を以て自分に不利なりとせば、忽ち理窟を毀造して破壞を企つるのである、現に大戰中約束を爲せしものも戰後自分の不利と覺らば、之を捨つる、恰も弊履の如く、亳も相手國の利害と、理の正否とを顧みざるを見れば、今後頻々として襲來する經濟上の利權問題に關しても、彼等の爲す處豫め知るべきである。

然らば彼等の爲す處吾も亦爲すか否々然らず、不正は一時勝利の如く見ゆるも、結局劣敗たるを免かれざるものなれば、吾は自から進んで正義の實行者たらざるべからず、而して斯る境遇に處する道他なし、唯だ君民合體、民族團結、以て波瀾重疊し來る大困難に打勝つべき訓練を積むにあるべきである、然れども物に中心なくんば、時に軌道を逸するの憂ひあれば、吾人は我が皇室を大和民族の中心として世界に發展することを忘れてはならぬと共に、仁慈に富ませ給ふ天皇陛下の在ますを常に念頭に置かねばならぬ、而して陛下內外の政治に、文武の修ひ、御健康亦益々加はらせ給ふを拜承す、吾人衷心の喜び何物か之に加へん、謹んで奉賀す。

板垣伯遂に逝く

◇襲爵を拜辭せよと遺言す◇

板垣伯は晩年健康勝れざる爲め政治家としての活動を斷念するに至つたことは自由民權論を提げて全國を遊說し偶々美濃の大垣で一狂漢の襲擊に遭ひ『板垣死すとも自由は死せず』と叫んだ時である其の當時後藤新平男の如きは愛知の一縣立病院長にしか過ぎなかつたが知事の命も聞かずして大垣に駈けつけ伯の名譽の負傷に手術を加へたは出世の端緒だと云はれてゐるが兎に角其の時分政府の一大敵國の觀があつた板垣伯其の人の負傷に對し勅使が下つたと云ふので小役人共が一驚を喫したと云ふことである

◆又伯の一代中有名なのは一代華族論である華族は君主政體には必要なものではあるが不肖の兒か親の勳功で社會の上位を占むるは自由民權の精神に反すると云ふので去月十七日永眠の間際嗣子に向つて『襲爵を拜辭せよ』と遺言されたも此の精神に外ならぬのであらう帝國の柱石國家の元勳たる伯今は逝いて無し噫悲哉

各自一人づゝを呼寄せよ

總領事代理　領事　野田良治

在リヨ帝國公使館二等書記官野田良治氏は去月松村總領事の後任として當地帝國總領事館へ轉任せられ一と通り事務の整理をつけられたるを窺ひたる記者は一日移民問題に關する氏の意見を聞くべく總領事館を訪ひしに氏は謙遜なる句調を以て今後同胞渡伯の奬勵法として呼寄せ方法などの最も近道なりとて自己の所信を吐露せられたれば茲に之を掲載して讀者諸君の奮起決行を促がすことゝせり（一記者）

伯刺西爾移民組合が昨年は九千人の日本移民を誘入すべき義務を負ひながら僅かに六千人しか募集することが出來ず、今年も亦九千人の註文に對して今日迄に漸く千五六百名を誘入したに過ぎないと云ふのは甚だ殘念なことではないか

日本からの情報に依れば、我が帝國は土地が狹い上に毎年人間が殖えて困る〳〵と云ひながらも、一般に景氣が好い爲めに渡航希望者が少ないのだとも云ひ、又着伯後成績が良く金のドシ〳〵儲かる移民は一向手紙を出さず、却つて比較的不仕合な成績の惡い移民からは盛んに苦情や不平や、泣言を並べた手紙を書いて出すから、それで應募者が少ないのだとも云ふ

どちらにしても之は甚だ殘念なことで、こんな調子では珈琲園主や州政府は日本移民は宛にならぬから支那移民なり歐羅巴移民なりを奬勵し日本移民の誘入は止めにすると云ふ事に何時風向きが變らぬとも限らない、そこで在伯同胞は此際大に覺悟し、且つ大に奮發せねばならぬ、伯刺西爾に於ける日本人の勢力を大にし、且つ共同事業を營む上に於て、或は學校、醫師等の設備に關して各自の便宜を得やうと思ふならば、先づ第一に在留同胞の數を增す工夫をせねばならぬ、多數の同胞を伯刺西爾に渡航させる努力は獨り移民組合のみに委せて置くべきものではない、在留邦人一同力を併せて移民組合を助け移民募集を容易ならしむる事は正しく各自の分擔すべき任務であらうそこで現在の在留者三萬有餘が各自必ず一人づゝは呼寄せるといふ覺悟を定めたならば、現在の三萬は遠かならず六萬人となるではないか、その六萬が更に同樣の決心をしたならば伯國在留邦人の數は忽ち十二萬となるではないか

在留邦人は各自その資格に應じて平均一人に付き必ず一人づゝの親戚又は知己朋友を呼寄せねばならぬ義務があると覺悟して、伯國の有望なることを手紙に認めて盛んに鄕里に通信して貰ひたい、而して單に呼寄せるといふ丈けでは渡航の出來ぬ人もあらうから、成るべく渡航費の全部或は少なくとも其一部を送金して呼寄せを實行して貰ひ度い、移民組合の勸誘は言はゞ、後方から押すのである、在留同胞の勸誘は綱をつけて前から引張るのである、政府の援助は道に油を引くのである、この三拍子が揃へば、日本人の伯國移住者は大に其の數を增し、在留邦人の勢力は益々發展することは自由民權論を提げて全國を遊說し偶々美濃の大垣で一狂漢の襲擊に遭ひ『板垣死すとも自由は死せず』と叫んだ時である其の當時後藤新平男の如きは愛知の一縣立病院長にしか過ぎなかつたが知事の命も聞かずして大垣に駈けつけ伯の名譽の負傷に手術を加へたは出世の端緒だと云はれてゐるが兎に角其の時分政府の一大敵國の觀があつた板垣伯其の人の負傷に對し勅使が下つたと云ふの

『レヂストロ』植民地を見て

みすゞ

最近余はリベイラ流域に遊び風光秀麗の地レヂストロ植民地を訪問して歸る。包容する同胞約五百家族、道路の延長百十餘基、一週するさへ容易ならぬ大植民地なり。天高く土の香薫じて甘蔗の畑色づけり、家整ひ花や果樹の庭など見ゆるは大方舊植民の地區ならん。余は土に親しめる人々の勝利と幸福を思ひ更に一種の落付ある空氣に接して尠からず快感を覺えぬ。岡の麓を走る荷車の音、砂糖焚く竈の烟、生產の道漸く開けて團欒の賑ひを聞く。植民の平均年數僅か一年餘りに過ぎざる今日已にこの成績を見る。況んや會社の豫定とする二千數百家族が此地帶に植民せる曉其十年後は果して如何ならん斯く想ふ時余は只だ胸を廣げ大氣を呼吸して遙かに何物か輝けるを見る心地す。

共拓は植民地の生命なり會社と植民が相援けて互に犯さず共通の利益を計る事に依つて初めて目的は達せらるべきなり。さは云へ幾多の困難を有す。難關の第一步は植民の殆んど九割が所謂直輸入の新渡航者たるに存す。其理由は一、伯國事情に通せざる事、二、伯國農業に無經驗なる事、三、一種架空的妄想を抱いで渡航せる分子ある事、四、移民に比し一般智識高く永住性を帶べる結果兒童數多き爲め勞働能率低き事等なり。この點は數年珈琲園に奮鬪せる一騎當千の移民を顧客とする土地賣專門の植民會社が到底思ひ及ばざる所にして毎船到着する此等新植民が土着する迄の辛苦と定住せしむる迄の努力は經營當事者ならでは伺ひ得ざる難事たり。然れども此第四の理由たる移民に比し智識高きと永住性を帶びたる分子は實にレヂストロ植民地が他日健實なる發達を遂ぐる根本要素にして營利以外に理想を有する此會社の不滅の名を成さしむるも又茲にあり。

余は『イグアベ』植民地論評を他日に讓り茲に余の尠からず興味を以て眺めつゝある二事を紹介せん。其の一は共拓會なり。即ち植民地同胞の自治機關として生れ恰も本日の天長節を以てレヂストロ本部に發會式を擧ぐる手筈なり。自治、共同、德義觀念の極めて缺乏せるは我日本人の通弊にして此の欠陷あるが爲めに內外至る處に其發達を妨げ意外な損失を招きつゝあるは等しく知る處なり。自ら治め共に利し共に樂しみ能はざる國民は早晚滅亡す。共拓會は果して何にを爲さんとするか。余は一萬有千町步の地主たる五百家族の名譽の爲めに切に其實質ある發展を希望して止まず。興味ある其二は學童問題とす。目下通學兒童男女を合して百餘名。州政府より與へられたる二名の伯國人教師に依つて教鞭を受く。會社の設置せる寄宿舍あり、道遠き通學生徒の便に充つ。新築中の大校舍も近く完成せんとし更に植民地內各所に增設を計らんとす。兩三年中には恐らく植民家族數も千を越ゆべく從つて通學兒童も七八百に達すべし。盛んなるかなレヂストロ植民地や。吾等が混沌亂脈の過去十年に拂へる最も高き犧牲は實に吾等の後繼者たる子弟をして一種の畸形兒となせる恨事にあり。見よ珈琲園に、幾多の植民地に教育の缺乏より來る畸形兒は異樣の眼を開き奇怪なる言語を操つて憚らず。此等の畸形兒こそ僞りもなく第二の建設者なり。子孫を度外視して植民の實を擧ぐべくもあらず。兒童教育問題は誠に吾等が果たすべき最上の義務とす。幸なるレヂストロ植民は到着早々其子弟を學窓に托して心置く處なし。山姿水體いともすぐれたる此の地に育つ此等兒童は十年或は二十年後に於て必ずや健全なる吾等の後繼者たらん。敢て余は植民諸子に告ぐ。一粒の黍地に落て死せざれば秋の實りを如何せん。黃金世界は決して天上にあらず、諸子が住む地下にあり。先づ土に親しめ、而して深く耕せ。かくて開く花、結ぶ其實は世の何物よりも麗はし。終りに余は白鳥氏の高き人格と藤田福井原氏其他の誠意と努力に滿腔の敬意を表し併せて植民諸子の健康を祝福して筆を措く。

讀者と記者

●吾人の希望

大志生

記者足下、貴社『時報』創刊して二ケ年、百號に達したのお慶として擴張の意味に於ける移轉を決行せられたそうであるが、洵に在留同胞の爲めに慶賀する處である、歐洲の大戰も五年に亘る長い間に、巨大な物資と、貴重な人命とを犧牲にして、茲に漸く平和克復とまで漕ぎつけたが、世の中は到底競爭なしには濟むものでないと見へ、砲煙彈雨の中で命の遣り取りが治まつたと見れば、今度は英、米の連中が手を振つてアングロサクソン民族跋扈と出掛けて國權爭奪の火蓋を切つた、之に就て東洋の盟主と目さるゝ我が帝國も勢ひ英、米を向ふへ廻はして經濟上の大競爭を行らねばならぬことになつたが、之は容易なことではなささうである。

併し如何に辛くとも世界の場面が斯く變つて來た以上は、我が帝國も退いて滅びる譯にも行かないから、大に勇氣を鼓して此の世界的大競爭に打勝たねばならぬのであるが、之を爲すには是までの樣に小さくなつて國内にのみ蟄居してゐては駄目である、どうしても積極的に海外へ乘り出し、世界的競爭場裡で輸贏を試みなければならぬのであるから、貴紙も紙面に刷新を加へて、世界政策を鼓吹するならば、百尺竿頭更に一歩を進めて、極力我が同胞の伯國發展を唱道して貰ひたいものである。

我が『時報』は大和民族の伯國發展を實現する爲めに產れたものであるから、無論御希望の如く今後も是まで通り努力するが、日本の社會狀態は戰後大分變つて來たと同時に、未だ伯國の眞相が母國の人達に徹底するまで判つてゐないから今後此の點に向つて特に力を注ぐ積りである、故に在留同胞殊に青年諸君は吾々と心を一にして、伯國の眞相紹介の爲めに力を盡して頂きたい、而して其の方法は今後の紙上に續々掲載することにする。（記者）

いろんな人（下）

鹿野久市郎

道でひよつこりS君に出會した。『まあ來いつまあ來い。十年振りじやないか』『でも君店の方は』『二時からだから晝飯一所にやらう。家は直ぐ近くだよ』『狹いがな』『狹いてもよい御馳走し給へ。十年振りじやないか』としつべい返しに御馳走の催促と出掛けた。S君の家はそりや武市の中心の賑やかなとある通りの高樓を昇降機で怖しい勢で突ン上るんだが殆ど屋根裏と覺しい八疊敷ぐらいな部屋である。寢臺キモノ入れには鏡が付いてる。机の上にはペン、インキ壺、ブロック、櫛までチャンと揃つて在る。『あの棚の上は何だ』『あれか君』とS君は稍得意の反身でいしくも聞いたりと大に僕に友愛の情を增して物語る。『僕はねえ君御覽の通りの蠻カラだけど衷中大に灰カラに渦仰してるさ。路を過ぎ行く美人の袖の移り香。よくこそ來つれ我ぬし よと扉を開いた美人の部屋の薫ひ。僕は君香水が大好きだよ。月に一瓶づゝこれはと思ふものを買つたのが即ち棚の上に並べた六十幾種の香水だよ。そりや君伊太利物も佛蘭西製もあるよ。アグワ、コロニヤかあんと云ふ。ひよつと頭を上げて見ると金泥六九で同衾したことのある水野君。『大變きれいになつて居られるのでつい見違へました』と正直な所を開陳して了つた。きけば柔術や醫者は廢業で近來は仲買で具合大によろしとかや。灰カラの曰れも讀めたと云ふものだ。中へ案内されて這入つて見ると居る居る。東洋移民の參謀長だつた豐島樣もう二人の男の子の親父だか。稍面窶れの體に見受ける。サンタ、マリヤ耕地の支配人の嬶に猫撫聲でシン、シニヨオラをやつたと云ふ松田君面目一新角刈りでカイゼルびいきだ相だ。『僕を知つてるか』『僕を知つてるか』と三井物產の高尾君が來る正午の諸橋君が來る。短かい洋服さて尻だしながら太つた軀で相樸こつた當年の鼻たれ君や體操出席の慣返事の代行をやつた方々が今になつて如何に濟し込んだとて駄目々々。矢張顏の形は變らん血御座候しも八九ケ月前より忘れし如く全く全快せしものと喜び居り候處先日より又も一週間程引續き每朝床を離るゝ一時間程前に一回宛甚しき出血御座候て出血の納まると同時に後頭部に少しの痛みを覺へ申候右何病なるや又手當方及良藥御敎示の程願上候（ブレジョン心配生）

○答、Gelatina 10 gramma（膠）（一日の分量）之れを一合乃至二合の溫湯に溶解し一日の間に服用するこれは無害で有効な藥です、連續して用ひて差支ない傍ら刺戟物カフエイ酒類等を禁じ便通祕結せぬ樣注意を要する

●問、私儀先月二十五日頃より右耳の後部に痛みを生じ初めはコリと思ひて按摩を致し或はヨードを塗り候へ共一向良くならず初めは耳後骨の下のクボミの筋を押へれば上部の痛みは輕くなり候も目下にては殆んど其効なく食慾便通等も平素と變り無之候今迄も腕の關節に痛み起りし事度々ありて其都度リウマチ藥を服用致して恢復致候いき何卒治療法並びに服藥等御敎へ下され度候

（木下萬次郎）

○答、Aspirina 1,5 gramma 一日分三回に服用これを七日間連用局部に湯に溶解し一日の間に服用するこれは無害で有効な藥です、連續して用ひて差支ない傍ら刺戟物カフエイ酒類等を禁じ便通祕結せぬ樣注意を要する（モジアナの女）

○答、これは鼻のせいでそんなになるのです、他分肥厚性鼻炎と云ふものでせう、身二つになつた後にも頭に影響する樣でしたら手術を受ける必要があります（危險はない）差當つては便通を良くして逆上せぬ樣にする事が肝要である。

●問、妾事昨年十一月出產致し日立ちも極宜敷丁度四ケ月後下血ありて頭痛を覺へ早く醫藥を用ひたれども只何の効も無只今にては頭の後部常に重く時々身體しびれ物事に動ち易く胸さはぎ致し、物事に何の忍耐も無く甚だ困り居り申候間其治療法御敎へ願上候（モンソン愚女）

○答、これは皆んな貧血の爲めつまり身體に血が不足した結果の容態と考へます、下血は肛門からだつたらうと思はれる、それでしたら內痔核のある場合に時々それが切れて出血する、多分此んな原因と考へますがそうとすれば第一に此方の注意が要ります便通を硬くなく每日行く樣にせねばならぬそれには新鮮な野菜を多く食すると宜敷い同時に鷄卵肉（殊に內臟）などの滋養物を取り自然に血液を補つて行く樣にすると必ず恢復する

衞生欄

高岡醫師

○答、Folha de Uva Ursi 50 gramma（七日の分量）右の七分の一を取り約一合の熱湯を注ぎ五分間位煮沸せしめ冷却した後一日四回に服用する、今後二ヶ月間位は勞働を廢し酒類辛い物を用ひてはならぬ、上の服藥を續け忍耐して治療せねばならぬ

●問、妾儀大正三年渡航內地出發二三ヶ月前より鼻つまり物を嗅ぐ事能はず其まゝに致してゐたら自然なる事と思ひしに只今では一二ヶ月より頭痛致し上より鍋でもかぶつた樣にて其上身體に熱さへあります、而し只今姙娠三ヶ月になりますが鼻の爲めか又姙娠の爲めで有ませうか御尋いたします、右の有樣手紙にてわかりますならば養生法何卒御敎御願申します（モジアナの女）

○答、これは鼻のせいでそんなになるのです、他分肥厚性鼻炎と云ふものでせう、身二つになつた後にも頭に影響する樣でしたら手術を受ける必要があります（危險はない）差當つては便通を良くして逆上せぬ樣にする事が肝要である。

●問、妾事昨年十一月出產致し日立ちも極宜敷丁度四ケ月後下血ありて頭痛を覺へ早く醫藥を用ひたれども只何の効も無只今にては頭の後部常に重く時々身體しびれ物事に動ち易く胸さはぎ致し、物事に何の忍耐も無く甚だ困り居り申候間其治療法御敎へ願上ます

（十六才男）

○答、Folha de Uva Ursi 50 gramma（七日の分量）右の七分の一を取り約一合の熱湯を注ぎ五分間位煮沸せしめ冷却した後一日四回に服用する、今後二ヶ月間位は勞働を廢し酒類辛い物を用ひてはならぬ、上の服藥を續け忍耐して治療せねばならぬ

●問、妾儀大正三年渡航內地出發二三ヶ月前より鼻つまり物を嗅ぐ事能はず其まゝに致してゐたら自然なる事と思ひしに只今では一二ヶ月より頭痛致し上より鍋でもかぶつた樣にて其上身體に熱さへあります、而し只今姙娠三ヶ月になりますが鼻の爲めか又姙娠の爲めで有ませうか御尋いたします、右の有樣手紙にてわかりますならば養生法何卒御敎御願申します（モジアナの女）

○答、これは皆んな貧血の爲めつまり身體に血が不足した結果の容態と考へます、下血は肛門からだつたらうと思はれる、それでしたら內痔核のある場合に時々それが切れて出血する、多分此んな原因と考へますがそうとすれば第一に此方の注意が要ります便通を硬くなく每日行く樣にせねばならぬそれには新鮮な野菜を多く食すると宜敷い同時に鷄卵肉（殊に內臟）などの滋養物を取り自然に血液を補つて行く樣にすると必ず恢復する

日本旅館

親切丁寧に御取扱可申候

雜穀買入

日本人諸君の御便宜を計る爲めに正直を旨とし雜穀一切の賣買に從事致候間多少に不拘御用命被仰付度願上候

バウルー市バテスタ、デ、カルヴァーリヨ街八番

澤尾儀七

Caixa Postal, 63 Baurú

確實安全なる植民地

一、イグアペ植民地はサンパウロ州輸出入港たるサントスより五十餘里の近距離にあり近き將來鐵道完成せば其距離更に短縮さるべし

二、イグアペ植民地は約百キロメートルの完成道路を有し加ふるに附近蒸汽船の交通しつゝある河多く貨物の運搬至廉なり

三、イグアペ植民地には目下四百三十家族の植民を有す

四、イグアペ植民地には日本醫師及藥劑師常任し日伯兩國の醫療器械及藥劑を有す

五、イグアペ植民地には現在男女各二個宛の小學校を有し各校伯國男女正敎員の在任するあり授業料を要せず明年より每年一二校增設の豫定

六、イグアペ植民地には農事試驗所、種畜場ありて各種農作物の試驗をなし家畜の種付をなす

七、イグアペ植民地には製材、精米、瓦煉瓦製造所の外ピンガ、砂糖、マンヂョーカ製造業者多數あり、將來尙ほ大に增加すべし

至便、至利なる植民地

雇入廣告

大工又は建具職 四名

同 職夜業 十二名

右至急入用委細は當店へ御尋ねたし

カーザ東

Rua Barão de Itapetininga

Caixa Postal, 1005

São Paulo.

◇砂糖園手入家族募集◇

一場所、フランカ驛カショエラ同地には一日砂糖百五十八出すべき製造所あり

二所要家族數、十五乃至二十

三手入賃、一アルケールに對百五十ミルレース也支給

四住宅其他、相當の家屋を給に希望に應じ間作地を貸

五受負、受負希望者あらば一任も可なり

六契約期間中の人は謝絕す

七詳細、は左記宛問合はせられ

Albino Cachoeira

Fiz. Cachoeira

Est. Franca

L. Mogyana

又は

伯刺西爾移民組合

リベロンプレト出張

Caixa Postal, 290

Ribeirão Pret

福壽殖民地

渡邊孝

ノロエステ線をピリグ井方面にバウルを離るゝと間もなく、はるか右手に紫色にかすんだ一帶の山脈を見るであらふ、吾が福壽殖民地はかのアグード山脈中にあるのだ。

同殖民地はバウリスタ線の終點驛ピラチニンガ及びバウル兩驛から共に四レグアの處に位置しノロエステ線のバルデバルモ驛までは僅に二レグアだとのことだがまだ道は出來てない、殖民地の中央を貫通する筈のバウリスタ延長線が不都合にもまだその儘になつてゐる、日本人の殖民地としてそんなに遠い方ではないがそれでもピラチニンガのやせた貸馬は相當に尻を痛める。

大膽無謀、而も勇悍無比な福岡二十餘家族が昨年來たて籠つた本殖民地の面積は四百數十アルケールを超えぬが地味の肥沃でムラのないこと多く他に類例を見ない、珈琲をプランタする殖民地として地味、地勢、標高其他條件の完備しあること現存日本人殖民地中の第一位に置きたいアグド山脈とミランテ山脈、この二つが現在聖州に殘された未來の珈琲栽培地帶だとせば珈琲栽培を標榜して、勇悍にそが一派に突進した彼等の前途の福壽長命なるべきはいふ迄もない同樣の意味に於て私は本殖民地と地續きなる矢崎君のガルサ殖民地の將來の發展をも甚だしく非觀しない。

福壽の福は福岡を意味する、自分が名づけたのでほめるではないが、まづ〳〵將來有望な殖民地が出來るだらふ、立派な珈琲園が出來るだらふ、私は或人達の期待しあるが如く今にもバウリスタ延長線が同所を貫通しそうには思ないがバウリスタ鐵道は儲かる成算のないつまらぬ地方に延長線を計畫する馬鹿會社ではない、土地を購ふならバウリスタ延長線を狙へといふドットル、ビッテルの言に多少の眞理を認める。

福壽とはちと名前がよすぎる、名前負けして中途に斃るゝことあらばそは殖民者の責任で私の罪ではないとは言はぬ、名つけ親としての心配は放漫息子にならぬ樣病氣にならぬ樣福壽君が健全な發育を願ふに過ぎない、昔から大酒呑に福壽長命者のあつたためしがない、呑み過ぎて死んだ殖民地もある、二日醉三日醉は以て殖民地の繁榮を期する所以ではない、生れたばかりの福壽殖民地が卒中で頓死すべきは私の夢想し得ぬ處である。

『福壽殖民地』この名筆振ふて、これをレンズに收め二泊の後歸途に就いた。

福壽殖民地のとなりにサン、エスタボンといふ耕地がある、同所は月曜日に馬でコロニアを散歩してゐてもなんともいはぬ、又年末になつても自分の受持珈琲が何處何處にあるやらさへ完全に知らぬ者があつた位氣樂な耕地だ、この監督の寛容を逆用して舊移民さん達の働かぬことも亦他に類例を見ない、人の良い支配人が『日本の舊移民とは間作だけを作りたがる移民なり』とあきれてゐた。

日本から一所に此國へ來て、一方はもうとなりに地主となつて殖民者として將來の發展を物語つてゐるに一方はたゞのコロノでやけくそになつてゐる、到る處に滿足が出來ないで轉々としてゐる、新來者から舊移民とのあはれな尊稱を得て得心してゐるに過ぎぬ、この二つの相違には種々特種な源因のあるはいふ迄もないが、多くの場合働くと働かぬと、呑むと呑まぬと、睹つと睹たぬとに基因してゐることが多い、般鑑甚だ遠くない、新來者の緊褌一番を要する處

●パラナの日本人（一）

植民地

帆影

と特別初號の大活字二段拔の大標題に先づ氣を拔いて、吾が海岸地方の植民問題は、亞細亞移民に依つてのみ解決せらるべし、と小標題の下に當クリチバ市の『コンメルシオドパラナ』紙主筆ナシメント、ジュニオル氏の、詩の里はアントニイナのカ、ツに於ける長谷川君他諸氏の活動振訪問印象記その概畧をこゝへ……。

アントニイナの『七月十四日』倶樂部のサロンで、パラナ州沿海地方で、新しき試みとして着手された日本人の植民地が、日毎に着々と好成績をあげて發展してゆくのを、無二の誇と喜びとにしてゐる親友の、セバスチオンダマスコデソオザ君が、カ、ツの日本村訪問を私に誘つてかう云つた。

『市役所では他地方からの人で、この新植民地を見たいと云つて來た人には、喜んで交通上其他の便宜を計つてゐるんです……』

『結構！早速御案内を願ひたい。』

と叫んだ私の胸には新しい日本村を見ると云ふ好奇心がざわついてゐた。

翌日上ケ潮時に私等は市設波止場から自働艇に乘り込んで、白波蹴立てゝカ、ツ川を溯航したさてこの一行の顏振れはアントニイナ市長エイトールソアレスゴメス氏、市會議長セバスチオンダマスコデソオザ氏市議員トレグリアフヒリヨ氏フヒルモデオリヴエラ氏及び寫眞班。

川は幾曲りして次第に細く、そして淺く自働艇の航行不能となつたので、私等はカノアに移乘して、更ら に旅をつゞけた。

ゆく〳〵獨木舟の中から、沿岸に茂り合ふ樣々な植物を眺めながら、先づ土地の肥沃と云ふ素人的印象を受けた。

夕陽が鬼ケ嶽の後に沈んで夕靄が遠くの山から森からとだん〳〵に川岸をつゝんで來る。水夫のペチデイトの操つる櫂々々に、靜かなカ、ツ川の水面に波紋を描いて、氣長に進んで行くカノアの旅は、かなりに癪の種だつた、然し美しい夕月の銀のやうな光を浴びた、大自然の美しい詩景を目の前にしては、カノアの底にしやがんでゐる腰の痛さも覺えない。

八時前後漸く地上の人になり得たそしてペチデイトの家に導かれ、夕食を饗せられて、その夜はそこへ落ち着くことになつた。

私等が溯航の途中驚かされた事は二人の日本人が薪をカノアに滿載して下航するのに出逢つた事だ、そして彼等は立派に葡語を以て挨拶してマタラゾ製粉工場へ運搬してゆくのだと語つた

食後私等は疲れに他愛もなく明日は所謂日本人諸君の素適な發展振を見られる事を樂しみながら、招せられるまゝ床に入ればそのまゝグツスリ……。

鷄の聲にさまされて飛び起きると珈琲は乳入りならざるべからずと云ふ動議でドミンギイニヨ君が川を渉つて安元家へ乳を貰ひに出かけた。

朝霧がいつぱいあたりをこめて、空に朝日は見られなかつた。

『乳はまだかね、大分待たせるぢやないか、只今製造中……とでも云ふんだらう……。』

エイトオル市長お待ち兼ねの苦笑午前八時、ドミンギイニヨ君が乳を持つて歸つて來た、そしてその遲延の理由を說明して曰く

『……何しろ乳牛を持つたのが安元家今度がはじめてゞ、誰も乳のしぼりかたを知らない、と云ふので乃公親しく洗禮を施し且つ敎へると云ふ次第だつたのでね……。』

『あの何も御座いませんが午餐を手前共で……。』

ペチデイトが云ふ

『有り難う、然し時間の都合と、新植民地の見聞をしなければならないので、午餐は原家へ賴むつもりだから……。』

と市長が云ふ。

原家では前夜からの豫報で、私等一行を待ち受けてゐた。

珈琲を濟ました、私等は澄み切つた水の流れる川を渉つて、安元家の土地へ入つた、同家には二夫婦と二人の子供がある、長男は五才で康雄と呼び、郡立小學校に葡語敎育を受けてゐる、次男は三才で二人とも肥つた丈夫相な金時や桃太郎のやうな兒だ

戸口へ近づくと、その國民性を發揮した、頑丈な骨格な二人の日本人が現はれた、そして不器用ではあれ私等の諒解し得る葡語で、私等を室內へ招じ入れた、室內は極めて清潔にそしてキチンと取りかたづけられてあつた。少し過つて二人の婦人が現はれたそして日本流に三度お叩頭をした、初めは右方に次に中央に最後に左方に……之は訪問者一行中市長と云ふ相當高職にある者があるので、それに對して敬意を表してゞある。

恰度此の時長谷川ドットルが一行に挨拶する爲めに入つて來た氏はこの新日本村の全植民から親柱として目せられてゐる才能ある有識の士である。

ミナス州在留邦人の美學（續）

一金二錢　喜屋武龜
一金二錢　中里正榮
一金二錢　比嘉牛賀
一金二錢　喜屋武樽良
一金二錢　稻嶺良善
一金一錢　黃木安次郎
一金一錢　奧山末藏
一金一錢　中村三吉
一金一錢　野原幸德
一金一錢　中村渠龜
○ウニオン耕地
一金一錢　里見義太郎
一金一錢　當間成榮
一金一錢　具志堅古盛
一金一錢　上原牛
一金一錢　佐藤誠
一金三錢　今井久之丞
一金三錢　後藤準太
一金三錢　岡林寅松
一金三錢　棚町慶吾
○バルジヤ、アレグレ耕地
一金二十錢　在住日本人一同
○マツタ耕地
一金十錢　池岡鶴松
一金二錢　上村喜次郎
一金二錢　渡邊幸吉
一金二錢　渡邊卯作
一金二錢　大城梅盛
一金二錢　佐久川昌眞
一金二錢　中川行八
一金二錢　城間三郎
一金三錢　長嶺將龜
一金二錢　照屋次良
一金三錢　知花三良
一金一錢　上地加那
一金二錢　上地清
一金二錢　仲眞良德
一金二錢　弘中喜市
一金二錢　與那嶺龜千代
一金十錢　建部甚平
一金五錢　木島友衛
○ジユン、ジョンケーラ耕地
一金五錢　佐藤林三郎
○リフアイナ耕地
一金五錢　山口善藏
○サンタ、イザベル耕地
一金五錢　中原直人
一金五錢　簑田數夫
一金五錢　吉廣庄吉
○マンジョーカ耕地
一金十錢　田中正左衛門
一金十錢　畑野盛次
一金十錢　下園幸之助
一金十錢　籠原源作
一金十錢　向井伊太郎
一金十錢　籠原政義
一金十錢　瀨戸口正左衛門
一金五錢　竹內兼吉
一金十錢　上原榮藏
一金二錢　山本才藏
一金十錢　山口直一
一金三錢　山下茂一郎
○メランシヤ耕地
一金五錢　福田富太郎
（以上）

綺麗で、迅速で、丁寧で有名な
石村洋服洗濯所
電話セントラル參貳參四
Rua dos Lavapes No. 236

土地賣却

豫期した如く Heitor Legrú 驛はノロエステ線に於ける同胞發展の中心となりつゝあるは私共の喜とする所であります。我れがちに押し寄せて來る殖民者の爲に今日のノロエステ沿線に殆んど私共の希望する條件に叶ふ土地を得ることが出來ませんのに、獨り吾がエートル、レグルー驛は極く最近迄土人が居住して居つた爲めに其發展を阻害せられ、天與の富源を有りの儘に殘して置かれたのは恰かも私共日東男子の爲めに神樣が供へてくれた樣なものであります。

今回賣り出す土地は「サンバウロ土地材木殖民會社」の所有地で當殖民地と隣接し地質は所謂、バウダリヨ地帶で、其肥沃なるは如何なる穀類の栽培にも適することを保證致します。衞生の上から云ふても既に五家族の同胞殖民者があるが今日迄一人の病者無きに徵して明白であります、土地の支拂條件は他に比を見ざる程寬大にして殖民者の便宜を計つてゐます。希望者は百聞一見にしかすと申す通り此絕好の機會を逸することなく、當殖民地の實情調査の上御希望の土地を撰定せられんことを望みます。御照會は總て左記宛に願ひます。

イタコロミー殖民事務所
Escriptorio da Fazenda Itacolomy
Estação Heitor Legrú
Linha Noroeste

廣告

小生儀今般營業上の都合有之左記の場處に移轉仕候に付今後は左記宛御取引被成下度此段及廣告候

倘便宜上ノロエステ線ブレジデンテペンナ驛平野植民地大石智覺、同線エトールレグルー驛高橋善七へ御用命有之も差支無之候

Y. T. S. Comp.
Yamaguchi Sannosuke
Caixa Postal, 62
Est. Albuquerque Lins
L. Noroeste

山口三之助

棉花、マモナ、穀類一切多少に不拘現金買込申候
但し代價取定め次第空袋御渡可申候
アルブケルケリンス驛には精米機據え付け申候

弊店は新式流行形を最も廉價に調製可仕候間何卒御注文の程奉冀候
電話（セントラル『四五五九』を御呼び出し被下度候）
▲▲各種流行服
▲▲女羅紗服
▲▲其他御修理
材料精撰
直段勉强
田口洋服店
Rua Conde de Sarzedas, 73

◎各國電報

◆日本の膠州灣撤兵

北京來電として本日『タイムス』紙の發表する處に據れば、日本政府は支那國内の他の地點と交換の條件を以て膠州灣を還付する旨同國公使をして支那政府に提議せしめたり、日本公使は自ら支那外交部を公式に訪問して此提議を爲すと同時に、日本は此提議が承認せられなば二ヶ年以内に同地より撤兵すべしと言明したる由傳へらる尚此電報は説明して曰く該提議は日本が滿蒙地方に於ける領土獲得を意味す、支那政府は久しき以前より此種の提議を豫期し居たりと（二十三日紐育發電）

◆北米上院と山東問題

北米上院外交委員會は山東省に於ける獨逸利權の讓與に關する講和條約條文中の日本なる語を支那に改むる件を九對八を以て可決したり、此修正の結果は當然問題の領土を支那に還付する事となるべし、委員長ロッヂ氏は此修正に對する動議案を起草せり、共和黨は修正に贊成し民主黨は之に反對せり、第一修正を終へたる後委員會は他の修正案審議を續行せり（二十三日紐育發電）

◆英國の造艦中止

『デーリー、レコード』紙の報ずる處に據れば、クライドの造船業者は建造中の軍艦にして進水準備成れるものゝ外凡ての作業中止を命ぜられたり、此命令の爲め數千の職工は一時其職を失はむ、又此命令は本英國の造船所に適用せらるべしと信ぜらる（二十六日グラスゴー發電）

◆北米入國愈々困難

大統領ウィルソン氏は教書を送りて旅券法の改訂を求め又國務省へは好ましからざる外國人の入國を防ぐ爲め『見せ金』を七百五十弗にする樣命じたり（二十六日ワシントン發電）

◆青島に於ける獨墺人所有權

在北京『タイムス』通信員は報じて曰く日本政府は青島に於ける獨墺人の所有權を調査しつゝあり、これ獨墺國より日本へ支拂ふべき償金中に計上せんためなるは明かなり（二十八日紐育發電）

◆支那兵解散

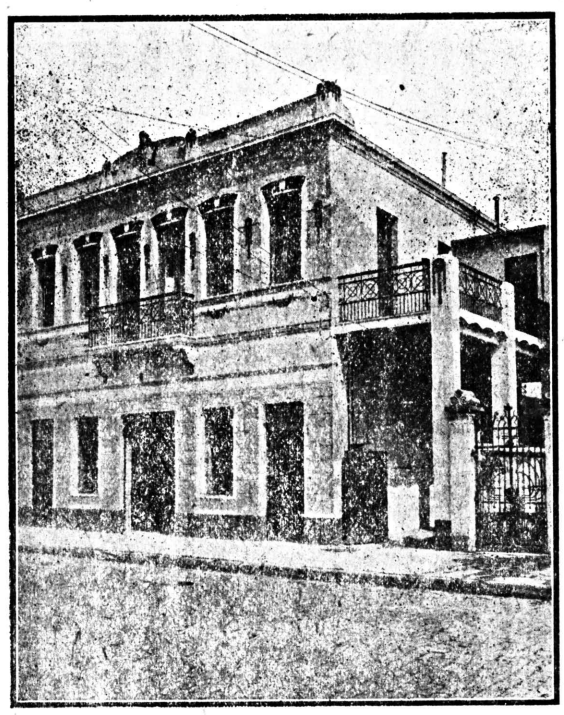
在北京『タイムス』通信員は又報じて曰く支那政府は一ヶ月二萬五千人の割合を以て九月一日より其軍隊を解散するの命令を發したり支那海軍再興の計劃は既に成立したり（二十八日紐育發電）

△▲領事館便り▼▽

◆報告書縱覽　今回總領事館事務所は其一室を新聞雜誌類の閲覽室に當て通商公報、移民調査報告、商業會議所月報、伯國の事情を知るに便なる書類等を陳列し調査希望の特志者の爲め時間中は何時にても縱覽を許す事となれり。

◆呼寄證明出願手續簡便となる　從來伯國在留者より親戚を呼寄する爲め總領事館に證明を出願する場合は被呼寄人の戸籍謄本の添附を必要とせるが今後は多數の呼寄移植民を渡航せしめ度き趣意より其手續を簡便にし戸籍謄本は添附するに及ばざる事となれり。併し萬一親戚關係其他に虚僞の申立や大なる誤謬のある場合には例へ總領事館の證明あるとも本邦府縣廳に於て渡航許可を與へられぬのみならず虚僞の申立に對しては相當制裁を加へらるべきにより出願者は深く此點に注意を必要とす。尚ほ追々呼寄人の資格に應じ親戚にあらざる知己朋友同郷人等をも呼寄する事の出來る樣目下帝國外務省と打合せ中なりとの事なり。

◆文部省より寫眞の注文　帝國文部省にては目下同省に於て編纂中の高等小學地理書の挿畫とする爲め當州委員たりし事もあり、軍事行政には一隻眼を有する人なれば、陸軍部内の積弊を廓清するに適材なりとは一般の定評なり、氏は活動的政治家たると同時に極めて篤學の士にして土木工學、耕地經營、鑛山、電信、財政經濟等に關する著書數多あり、本年四十九歳。



今回移轉の伯刺西爾時報社

若し此等の寫眞を持合せの諸子は成るべへ總領事館を經て御寄附ある樣希望すと云ふ。尚相當高價のものなれば總領事館に於て希望により買上ぐべしとなり。

◆官舍の修繕　『アベニダ、パウリスタ』百四十三番の總領事館官舍は今後尚數年借繼ぎの契約成り家主は同家屋外面全部の塗替、門より入口までを『セメント』のタ、キとする等改良を加ふる事となり同時に庭園の手入れも約半ばを終り大分體裁よくなりたり。

新政府の人々（中）

▲陸相カロヂエーラス氏

ヂユオン、バンヂャー、カロヂエーラス氏は伯國政界少壯氣鋭の一人にして、其父は希臘より歸化したる伯人なり、土木技師より轉じて政治に携はり、ミナス州農務長官、同州選出聯邦下院議員等に歷任し、千九百十四年ブライス氏大統領の下に農務大臣次いで大藏大臣たりき、講和會議使節の一人として現大統領ペソア氏と共に巴里に派遣せられ、會議終へて經濟調査委員として英國へ渡り滯英中陸相に任せられたる人なり、氏は下院に在りて陸軍豫算案の説明に生れ、オーロプレト高等工業學校を最優等にて卒業し、直ちに土木工學及び採鑛學研究のため歐洲留學を命ぜらる、歸來リオ、デ、ヂャネイロ築港監督として其卓拔なる手腕を發揮したりしが、間もなく官命を帶びて港灣修築制度調査に北米に赴く、其後旱魃豫防調査會委員長となりて北部諸州を跋渉して之が研究に沒頭し又全國に亘りて鐵鑛及び石炭鑛脈の調査を爲し、伯國富源開發に最も力を盡されたる一人なり、モレーラ大統領代理に依つて鐵道管理局總裁に任ぜられ、此の度遞相となる、其著『コンブスチーヴェル、ナ、エコノミヤ、ウニヴェルサール』（一般經濟上の燃料）は伯國に於ける燃料問題に關する隨一の書として推賞せらる。

▲藏相バチスタ氏

新大藏大臣オメーロ、バチスタ氏は伯國財政通を以て知らる、氏は少壯の頃伯國が未だ王政たりし時に於て共和主義の宣傳に努め、聖州に於てヂウリオ、デ、カスチーリョ。ポルヂエス、デ、メデーロス。アシス、ブラジルの諸氏と共に、或は筆に或は演壇に奮戰努力し、目的達し、共和政府建設後は南リオグランデ州選出下院議員となり、豫算案説明者、經濟調査委員として令名あり後暫く政政經濟等に關する著書數多あり、本年四十九歳。

移民問題

廿七日の『エスタード』紙のリオ電報より抄譯す（一記者）

歐洲及び亞細亞各國に在る伯國公使館及び領事館より聯邦政府への報告に依れば、各國共或は團體より或は個人より、伯國へ移入する方法につき照會せらるゝ事夥しく、其中在維納伯國公使館へは數千コロアスの資産を有する教育ある人々にして、土地の拂下げ、地價、及び其拂込方法等を至急知りたしとの申込みあり又團體を組織し代表者を選定し南米諸國へ派遣したるあり、既にリオには其一員たるガミルシング氏あり、前農相パヅアサレス氏と會談を遂げ目下各州を視察中なり、同樣なる報告は英國、諸國、白國、瑞西等に在る公使館よりも到來せり之等の報告を綜合すれば、十萬家族人員約五十萬の伯國渡來希望者あり農相ローペス氏は此問題解決の方法を研究の結果、不適當なる要求を除くに都合よき樣移民法の改訂案を熟慮中なり、此修正案に依れば、好ましからざる移民、家長なき婦人小兒にして伯國の厄介者となる如きものは入國を阻止せらるべしと云ふ、農相は移民誘入開始のため目下イリヤダスフローレス收容所の設備を急ぎ而して殖民局は同所に宿泊中の獨人を移轉せしむるために忙殺せられつゝあり、

英國の八汽船會社、北米の三社、佛國の五社、和蘭の一社、伊國の六社日本の二社、白國瑞典各一社は何時にても移民輸送を開始し得る樣準備全く整へり、

農相は現在二萬人の勞働者を配耕し得る樣、耕主側と交渉經りたる由なるが、其中一萬人は實にサンパウロ一州之を占むといふ、

政府は目下此問題を仔細に研究中にして、多分北部諸州に植民地を開設するならむと云ふ。

開店御披露

私儀昨年八月歸朝日本各地の輸出商と特約し今般再び渡伯左記の處に於て雜貨店開業仕り誠實を旨とし能ふ限りの廉價を以て御高需に應じ申候間多少に拘らず御用命の程伏して願上候

大正八年八月卅一日

瀨木商店

瀨木四十逸

Rua Conde de Sarzedas, 49
São Paulo
電話 3836 Central

◆在荷品目錄◆

◎化粧品類　◎食料品　◎書籍
◎藥種類　◎野菜種子物類
◎金物類—大工道具　農具其他

尚詳細の事は御申越次第營業目錄進呈可仕候

御禮

謹啓江上嘉雄君儀諸君の御同情に依り七月十三日無事聖市着早速サンタカーザ入院手續致候も病狀案外に良好にて其の必要なしと斷られ候故中山旅館に萬事委托する事に致し候御同情金は左の通り使用仕候間御禮を兼ねて御通知申上候　敬具

一金五十七圓七十錢也　宿料
一金八十圓也　驛長への進呈品代
一金五十圓也　江上氏渡し
一金百九十八圓九十錢也　諸費用
以上

佐藤次郎
高橋善之助
森部一衛
河原龍太郎

同情者各位

廣告

同胞諸君の御便利を計るため在サンパウロ市 Banco Commercial do Estado de São Paulo と特約し當店への御送金は左記土地に在る同銀行本店及び支店に於て無手數料にて取扱ふ事と相成候間同地方に御在住の方は同銀行を經て當店へ御送金被下度候

São Paulo, Santos, Bebedouro, Botucatú, Campinas, Piracicaba, São Manoel

右の外同銀行は『サンパウロ』州の主なる土地に代理店を有し小額の手數料にて送金方取扱申候に付是等代理店を經て御送金相成候はゞ御便利ならむと存候猶ほ從來通り他銀行の爲替又は郵便爲替、現金封入にて直接當店へ御送金相成候ても勿論差支無之候

御注意

一、Banco Commercial do Estado の支店又は代理店を經て當店へ御送金の節は『同銀行（サンパウロ）本店に於ける横濱正金銀行の勘定へ振込度き』旨御申込相成度

二、猶ほ別に金子幾何拂込たる旨當店へ御通知相成り同時に預金申込書又は送金申込書必ず御送附被下度候

横濱正金銀行

リオ、デ、ジヤネイロ支店

移轉に付謹告

前號に申上ました通り、本社は去る九日より移轉準備に取掛り二十二日を以て全部移轉を終りました、工場の整頓、機械の据付等は多少豫定時日より日間どりましたが、其れにしても別段故障もなく本日より引續き『時報』の發行を見るに至りましたことは、讀者諸君と共に大に喜ぶ處であります。是より本社同人更に一層の奮勵を以て、紙面の改良に從事しますれば、何卒倍舊の御愛讀を願ひます。

伯刺西爾時報社
NOTICIAS DO BRASIL
Rua Martiniano de Carvallio No. 26
Caixa Postal, 11　Telephone Central, 2778
S. PAULO

●伯國政府と海外發展博覽會

▲出品は十月の便船で積出す▼

帝國貿易の隆昌と海外移植民の繁榮を紀念し更に一層の發展を促さん爲め來春三月櫻花の候を以て東都上野公園に日本海外發展博覽會開設の事は既報の通りなるが

◆右出品に關しては夫れ〴〵掛り員より當國の聯邦政府幷に州政府に幾度も交渉を重ね既に着々進捗し居れるも聯邦政府は最近新大統領の就任と共に閣員に交迭ありたるより適ま適ま來伯の青柳郁太郎氏は同博覽會評議員の資格を以て去る二十一日堀口公使幷にリオ出品事務取扱委員後藤武夫粟津金六の兩氏と共に新農工商務大臣ローペス氏と會見し

◆席上堀口公使は詳かに同博覽會の目的及び規摸等に付き一々圖面により説明し伯國政府の出品を勸誘せし處大臣ローペス氏は快諾直に農商事務當局に對し改めて出品取集め方手配を命ぜらる猶ほ當日後藤粟津の兩委員は居殘りて農務局長と種々の打合せありたるが其の結果兩委員は翌日更に農工商務省に出頭の上希望の出品に就き目錄を提出したり

◆又サンパウロ州政府は同州產物に關し別に出品する手筈にて州商務局長擔當手配り中猶又海外興業會社伯國支店幷に伯刺西爾時報社も此の機會を利用して可及的多くの出品を爲し伯國の產物を母國に紹介せんとて夫れ〴〵印刷物を配付し在留同胞に出品を勸誘し其の成績頗る良好なれば來る十月の便船には出品全部を送り出し得べしと

●伯國銀行總裁

聖州前大藏長官にしてペソア大統領の下に閣員の一人に內定ありしカルドーゾ、アルメーダ氏は、聖州政治家の陰謀に憤慨して、閣員たる事を謝絕すると同時に大藏長官の椅子を去り爾來鬱々として樂しまざりしが、前パンコ、ド、ブラジル總裁にして現大藏大臣たるオメロ、バチスタ氏とペソア大統領の勸誘に動かされ遂に去る二十六日バチスタ氏の後任として同銀行總裁たる事を承諾したり、アルメーダ氏は二十七日歸聖私用を終へて今明日中に再びリオへ赴き然る後任命の公表あるべしと

●青柳重役來る

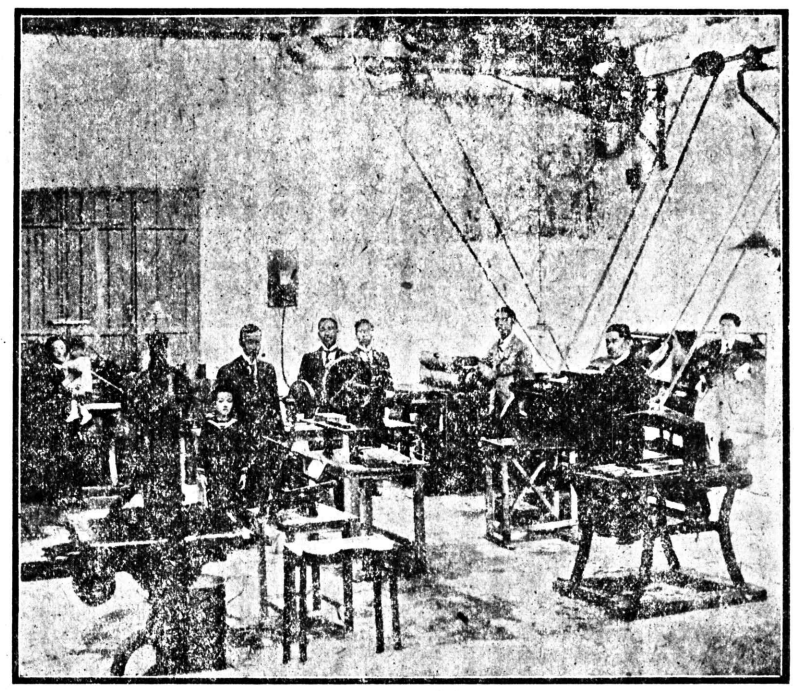
本年五月伯國に向け故國を出發せる海外興業會社の青柳郁太郎氏は其後秘露、智利の視察を終へ更にアンデスを横斷し亞國に出で本月十三日無事着伯せらる。氏は聖市に本據を構へ同會社伯國事業總覽の任に當ると聞く、着早々或は政府當局を訪問し或はリオへ或はレヂストロ植民地に殆んど席温まる閑もなし。氏は我拓殖事業界の第一人者にして人も知る如くイグアペ植民地は全く氏が高遠なる理想と不屈の努力に依る結晶なり。二十日大根は二十日にして亡び老松は年を經て益々偉なり。吾等は厚く青柳氏の伯國植民事業に於ける功勞を多とし併せて同氏の安着と健康を祝し益々同胞發展の爲め奮勵あらん事を切望す

●サントス日本人會成る

去る二十四日午後サントス市邦人小學校に於てサントス日本人會の發會式あり來會者約八十名、司會者は水野太一郎氏。來賓としては聖市より野田總領事代理及び新井書記生の二氏あり。會則の制定役員の選擧に次ぎ野田總領事代理は一場の希望演說を試みらる。式後小宴に移り五時閉會せるが役員は左の如し

會長　水野太一郎
副會長　上原直松
會計　三好一藏、座喜味盛章
幹事（イロハ順）
高越民次郎、仲村善三郎、南和吉
上原直勝、野中作次、藤井力太、
古謝將義、赤堀吟三、坂井、座木
琢磨、佐々木實治、金藤菊松、島
谷岩吉、榮門松

尙假事務所を左記に置く由
Rua Senador Feijo, 148　Santos



我社新工場機械室

●葡和辭典賣り切れ

本社營業部にて取次販賣する大武和三郎氏著『葡和辭典』は內容の完備と價格の至廉と相俟つて在留同胞諸氏の歡迎を受け既着一千部は玆に賣り切れとなり後荷到着までは注文に應じ難ければ改めて廣告するまで代金送附見合はせられたし

●田口氏宅の慶事　海外興業會社伯國支店長田口道造氏夫人は去る十三日男子出產『聖市』と命名母子共に健全なりとはお慶たし

●高岡氏夫人出產　我社衞生欄担當の醫師高岡專太郎氏夫人は去る十七日男子分娩『健太郎』と命名し母子共に健全なりとはお目出たし

●嶺夫人電車にて怪我　伯刺西爾移民組合の嶺昌氏夫人は去る二十六日電車よりの降り掛け眩して墜落したるも怪我の輕かりしは不幸中の幸とも云ふべし

□□　人事來往　□□

●森牧師來聖　北米桑港リホームド敎會の森牧師は伯國に於ける同胞の宗敎狀態視察の爲め齋藤氏と共に去る二十日來聖小川ドクトルの案內にて廿一日ノロエステ方面へ向け出發

●松田氏出發　鎌倉丸の移植民輸送監督として來聖されたる吾々お馴染の松田順平氏は來春又々渡伯の目的を以て去る二十一日鎌倉丸にてリオ出發歸朝の途に就かれたり

●鹽川、小平兩氏來聖　日本貿易會社ブエノスアイレス支店の鹽川伊四郎、小平隆次郎兩氏は商用を帶び前週來聖の處去る二十八日夜行列車にてリオへ赴かれたり

●熊坂、福川兩氏歸聖　鎌倉丸便乘リオ港滯在の松村總領事へ紀念品贈呈の爲めリオ市へ出張されたる熊坂[illegible]郎、福川[illegible]氏は去る二十一日歸聖

●鈴木氏歸植　先週所用を以て出聖滯在中の鈴木貞次郎氏は去る二十四日ノロエステへ歸殖

●宮崎氏歸殖　病氣保養の爲め出聖滯在中の宮崎八郎氏は去る二十九日ビリグイへ歸る

瓦屋根

お蔭でボロン生活からヤットのこと二階住ひと出世はしたものゝ生憎くたつた一つのガラス窓が半ば活版工場の瓦屋根に遮ぎられて薩張世間が解らない人間は餘り出世するものではないらしい。曇つた日の此窓は丁度書のない幻燈の幕に似て居る。それでも何か寫つては居まいかと瞰みをすえて視つめても無い者は矢張り無いと見える大方種板がないのだろふ▲何うも此頃は珍聞もない渡邊孝君の頬ベタが虫齒で腫れた事やとある人妻が夫を捨てゝ逃出した位ぢや初まならい聊か初まるのが故殺事件の顚末だが種板の現像が出來て居ない。市內相變らず不景氣だ。遊んで食つてのけると働てい生きて行く二通が陰氣な道を歩いて居る丈けだ。▲此頃至る處に色々な會が出來る樣だ。恐らく世界中で日本人程會を作る事が上手で其癖維持發展の下手な人種はなからう。多分趣意書作製に精力を消耗してしもうのだらう▲イグアペに二十日餘り寢食ひしてベッシェ北島と云ふ珍奇な魚の話を聞いた。この魚は甲を脊負つてリベイラの川底を泳いで歩るく。怒ると丁度北島醫師に似てる想だ。餘程此魚は優さしい顏付をしてゐるに違ひない▲レヂストロ植民地には人に吠え付く蓄犬が澤山居る中に最も猛烈なるは野村技師の所有に係はり奧さん一人の留守宅へでも訪問しようならイヤと云ふ程嚙み付くかどうかは何分知らぬ▲藤田令夫人がミス隈部時代は能く和歌を作つた好いた同志の其後は歌詠む隙もないらしい夫人は淋しい所が好きだと云ふ然し一人で行くのはいやだろふ▲原さん此頃どうだね戀しくもあり戀しくもなしかねと組合の石原君が尋ねて居ました

●聖市物價表（八月三十日）

實棉	一一、〇〇〇
落果生	二十五基　九、五〇〇
精米	六十基　四四、〇〇〇
砂糖（最上）	一俵　六〇、〇〇〇
豆（ムラチーニヨ）一俵	一三、〇〇〇
豆（白）一俵	一九、〇〇〇
マンヂオカ粉	五十基　一六、五〇〇
麥粉	四十四基　二九、〇〇〇
マモナ	一基　三、九〇
玉蜀黍	六十基　一二、〇〇〇

御禮

熊本縣人故村中文吾妻シヅ歸國致候に就而は辱知各位より多大の御餞別を賜り御蔭を以て無事鎌倉丸に乘船出發致候間此段御禮を兼ねて御通知申上候　敬具
大正八年八月
桑田米吉
渡邊政次郎
辱知諸君

旅館
和洋御料理一切
ボニータ街一二番
上地彌藏
郵函　一二二五
電話セントラル　五七〇一
神田醬油取次販賣所

廣告
福岡縣人石川久太郎氏宛日本より寫眞二枚到着當所に保管しあり同氏の住所御承知の方は御一報願上候
大正八年八月一日
伯刺西爾移民組合支部
リベロンプレト出張所
Caixa Postal 290
Ribeirão Preto.

祝天長節
食料品及雜貨商店
安戸敏行
尙入殖者の便宜を計るためペンソンも兼業仕候
マンチメント仲買
高橋善七
上塚殖民地驛前
Est. Hector Legrú
L. Noroeste

廣告
洋服裁縫師　數名入用
工料は當地同業者間の規定額月百ミルより貳百五十ミル迄
右御希望の方は左記へ直接御來談又は御問合せを乞ふ
大正八年八月一日
洋服裁縫所並ニ雜貨商　森部一衛
Est. Albuquerque Lins,
L. Noroeste

●ガルサ殖民地
本年度より續々入殖者あり御一報次第明細書を送呈す
委細は左記へ御照會あれ
代理人　矢崎節夫
Villa Costina L. Mogyana
コスチーナ
土地殖民會社
Dr. Labiano da Costa Machado
R. Barão Itapetininga, 13A
S. Paulo

本會々長野口松夫氏聖市に於て罹病療養中の處藥石効なく八月十日死去被致候間此段生前辱知諸彥に謹告申上候也
大正八年八月十二日
ビリグイ青年會

長崎醫學專門學校藥學士野口松夫儀出聖中病氣に罹り療養中の處藥石効なく八月十日午前二時半死去致候間此段生前辱知諸君へ御通知申上候追而遺骸はサンパウロ市アラサー共同墓地に埋葬仕候
大正八年八月十三日
兄　東島初一
嫂　同ユキ
妹　ソノエ
友人　宮崎八郎
榎木常孝

●日本近信

獨潛艦は東京灣で
●天覽台覽に
然る後全國を巡航し
戰捷示威運動を行ふ
◇◆其上で本年内に暴沈◆◇

六月十七日横須賀に歸着すべき捕獲獨潛水艦七隻は東京灣に於て

▲天覽及台覽に　供し奉りし上戰捷示威運動として全國の沿岸を巡航せしめ地方民の觀覽に供したる上本年内に愈よ暴沈するに決定せるものゝ如し右に關し加藤呉鎮守府長官の語る所に依れば

▲二百萬圓の　巨費を投じて廻航を終るや直に撃沈するは遺憾至極なるも聯合與國最高軍事會議の結果なれば止むを得ず去れど兇暴を逞うせる獨潛水艦の内部を研究する事を得る無形上の利益莫大にして將來潛水艦製作上利得多大也

●乃木神社創立
◇舊乃木邸に隣れる
◇木戸侯爵邸に建造

阪谷乃木會々長外五十三名より床次内務大臣に出願せる赤阪新坂町六三の舊木戸侯邸及隣接舊時計屋の地面に新設すべき乃木神社創立の事は内相より許可されたり出願人は最初故乃木大將夫妻を併祀する筈なりしも夫妻同列祭祀は不穩當なりとて夫人は配祀することとなりたる由同神社は舊乃木邸裏手に隣接せる木戸侯爵邸の一千二十二坪餘を購入して新築することとなり舊乃木邸表門通りは從前通りにて奥深く擴がりたる次第なり舊乃木大將名代の廐脇右側にある數軒の長屋をも買收して清楚なる庭園と爲すよしなれば附近の靜閑なる場所は一層清淨にして高潤なる地となるべし

望月氏
●病に痩れ
香取丸で歸る

六月十六日入港の香取丸には本年三月尾崎行雄氏と共に歐米漫遊の途に上り不幸

◆病魔の爲め　一行と分れ歸朝せし憲政會代議士望月小太郎氏あり又昨年七月戰時法令視察の爲め歐米に渡りたる司法省參事官宮城長五郎氏及び大阪地方裁判所長和仁定吉氏鷲見海軍造機中監あり又

◆實業家にては　堀越善重郎氏及び三井物産紐育支店棉花部主任兒玉一藏氏も本船にて歸朝したるが望月氏は未だ快癒せず衰弱の面持にて『自分は桑港にて一行と分れ市俄古紐育を歴遊中華盛頓に二十日許り滯在して船舶財政

◇勞働問題に付　研究中五月九日急性肺炎に罹り遺憾ながら歸朝したるものなり』と語り尚ほ外交問題に付きて原内閣の優柔不斷を憤慨しつゝあり

●商人から見た物價騰貴

◇米屋曰く『二千圓の掛が僅か二百五十圓しか』

◇店員曰く『勘定は案じた程でないが内金が多い』

◇大家曰く『毎月内金や延び勝で困つてゐる』

戰爭が濟めば下るだらうと言はれてゐた物價は休戰に爲つて益暴騰するばかりで殊に米價は勿論砂糖、茶、醬油、味噌等の日用必需品が最近又々騰貴し一時下落の模樣を示した銘仙類も再び騰貴し夏物の高い事は依然たるものでおまけに家賃は續々昇る一方で

▲生活の不安　の色は愈濃くなり殊に中産階級の家庭の困つてゐる事は非常なものである、ところで此の生活難を商人側から見た話を聽くに白米の需用は三等白米が一番多く二等米一に對する三等米五位の割合であるが外米の需用は極少數であるさうだ、其の理由は惡い米だと副食物が多く要るから却て損で殊に車屋とか比較的過激な勞働をする者は食物が惡いと充分に働けないさうだ、白米商の方でも現在は三等米を圓に二升で賣つてゐるが儲が少い所へ

▲勘定の寄り　が近頃めつきり惡くなつたと云ふ、芝の某米屋は『二千圓の掛取金の所へ僅か二百五十圓しか寄らない、殊に内金が多い、けれども問屋の仕入は現金だから商賣がやりきれないと言つてゐた、又内の白米屋は異口同音に『客が世智辛くなつて今までのやうなお殿樣買ひ譬へ物價が安くとも逃げらるし拂ひの宜い客は物價の高下には殆ど關係しないでも客が安い物を買うのに苦心してゐるのは事實で以前のやうに所謂お出入と云ふ關係は無くなつて購買組合とか廉賣市のやうな安く買へる所へ出掛けて行き

▲醬油や味噌　或は炭類は田舍から安く取寄せたりする、酒なぞも今の客は安くて量の多いのよりは上等の酒を少し飲むといふ風に餘程考へ深くなつた』と、又家賃なども拂ひの宜い惡いは店子の性質で物價には依らないさうなが併し月末に拂ふべき家賃を翌月の五日とか十日に延びるのが增えたのは生活難の壓迫だと或差配は言つた、殊に部屋借をしてゐる下級月給取等は實に悲慘で

▲惡い家主になると借手の多い所から鰻登りに部屋代を上げて惡ければ部屋を空けろと云はれても行く先がなくて窮迫な生活をしてゐる者が澤山ある、勝手向きの物價は實に驚くべき暴騰で戰前と戰後とに比較して五割から七割方騰貴し白米は三倍木炭は倍價になつた、醬油は昨年一月の上物樽三圓八十錢が五圓八十錢で

▲賣元相場は　又々暴騰して卸値六圓となつた、砂糖三盆白一斤昨春二十七錢が現在は三十九錢、味噌一貫目五十錢が七十六錢、酒は櫻正宗が昨春一升一圓が現在は一圓六十錢、茶は最近暴騰して狹山一斤（百六十目）昨春八十錢のが今は一圓十五錢宇治の喜寶が一斤（八十目）五十錢が八十二錢等衣食住の一つとして暴騰しない物は無い有樣で下級月給取は貯蓄其の日を暮して行に困難である

○東京電報（桑港近信）
（七月十四日）

●宮中講和調印祝宴

聖上陛下には十二日宮中豐明殿に文武諸官及び聯合列國使臣を招かせられ講和調印終了平和克復祝賀の宴を賜はりたり同日東宮殿下祝賀の宴に御臨席遊ばされたり

●西侯來る十八日佛港發

講和全權大使西園寺公望侯は近衛文麿公、西園寺八郎氏等を同伴し來る十八日日本郵船會社船熱田丸にてマルセイユを出發し地中海及び印度洋を經て歸朝すべしと

●日本特使倫敦訪問を終了

牧野男を同伴し倫敦に赴き去る十日英國兩陛下に拜謁せる西園寺侯は十一日午後倫敦を出發し十二日朝巴里に歸着せり

●南洋前獨領委任統治準備

政府は南洋前獨領中日本に依つて占領せられたる諸島の國際聯盟規約に依る委任統治機關の設置に着手せりはしなくなつて先づ新聞の相場欄を持出していろ〳〵米の文句を列べた末出來るだけ安い値で買入れ樣とするから米屋同士の競爭が激しくなつて損をする』と言つてゐる、併し是れは客が目覺めたのだから致し方はあるまい、勝手向きの

▲御用聞の話　を綜合すると『勘定は案じた程ではないが併し米が昂るとすぐ内金が增えて勘定の寄りが惡い貸倒れも何處の店にも少しはあるが併し内金の客や貸倒れに成る客は見したる

◆信濃川方面　に出張し居たる瀧川檢事も同方面の取調を終りて十九日朝歸京して同じく活動に加はりたるが神戸に出張し湯淺商店の捜索に從事せる岩村檢事は尙同地に止まりて活動を續くべく檢事局の空氣は著しく緊張し居るものゝ如く觀察さる又六月十八日收監されたる

◆湯淺商店　東京支店長山下卓爾、同外米主任小澤三郎等の瀆職事件に關し十九日正午湯淺商店東京支店の自動車一九一九號にて裁判所へ乘付け豫審廷に入り約三十分を經て退出したり

●此人適任なりや

武藤山治氏
◇米國の勞働大會へ
◇我勞働者を代表して

國際勞働會議の開期も今秋十月と決して我日本もその代表者を華府に送らなければならない而も今日の我國は之等の適任者を選出するに

▲非常な困難　を感じて居る假りに政府側資本家側から事は空論では駄目である机上の論や何等實際的に貢献のない學者や浮浪の徒に何れ丈の力と誠意が持てよう元來我

▲勞働問題解決　の手段として歐米その儘の形式を以てする事は非常な間違ひである尤も此の點に關し相當の人選を可能なりとしても更に進んで重要なるべき勞働者側の代表者を得る事は至難の業である右に付き鐘ケ淵紡績會社の重役藤正純氏の談を聞くと『勞働問題の目的が若し勞働者の幸福向上にありとするなら之が爲に

▲數十年來一貫　した主義の下に勞働者の健康地位の改善向上を實際に努めて來た我社の武藤山治君の如きは他に其比を見ざる適任者であらう蓋し賃銀問題の如きも一時的の好景氣に煽られて無計算な上げ方をすれば近く當然來るべき普通狀態更に恐るべき恐慌時代に處すべき道はなからう單に眼前の計しか計らない者は知らず苟も永遠の企畫を樹てんとする以上は根本方針を一時的の社會事務し居れるがトランク詰の死體を發

檢事總出の活動
●山田憲事件の飛火
神戸檢事局も大活動
△瀧川檢事は長岡より歸京
△岩村檢事は尙神戸に滯在

驚怖すべき空前の大事件として東京の眞中に演ぜられたる農商務技師山田憲の外米商鈴木辨藏殺しに關しては近頃東京地方裁判所檢事局は活動を開始し金山次席檢事、岩松、奈良井、松坂の各檢事は内外呼應して執務し居れるがトランク詰の死體を發

廣告

當市附近在耕諸君の御便宜を計らむが爲め今般聖市日本貿易會社並に木藤商會の日本賣藥種物等取次販賣開始仕候間多少に拘らず御用命願上候

大正八年七月

リベロンプレト市
移民組合出張所内
光安万藏
Caixa Postal, 290
Ribeirão Preto

播種器具

輕便で堅固で且つ種子が逸出しない理想的の播種器具（豆、稻、玉蜀黍）を廉價で發賣致します御試用あれ

代價　壹個　金拾五ミル（送料共）
六個　金八拾ミル（同）

委しい事は左記へ御照會あれ

高木畝生
Rua Conde de Sarzedas 63
São Paulo

中山旅館

私事今般月見亭を讓受け設備を整へ懇切を旨とし大勉强仕候間何卒御引立の程懇願仕候

聖市コンデ街六九
中山忠太郎
電話四五五九セントラル
Rua Conde de Sarzedas 69
São Paulo

旅館開業

清潔で、安くて、日本人旅館中最も停車場に近い

ソロカバナ驛前
城間眞次郎
Rua Mauá, 199
S. Paulo

旅館並に醬油、賣藥取次

柿内直吉
(Caixa Postal, 77)
Estação Catanduva
Linha Norte de S. Paulo

謹告

日本人諸氏の便宜を計り左の者を助手として雇入れ候間此段謹告仕候尙日本人諸氏には特に廉價に治療手術致すべく候

歯科醫　助手　原見柴治
Dr. G. de Azevedo
Rua Direita No. 7
São Paulo

書籍賣藥化粧品小間物土佐鋸大工道具食料品種子物類

御注文品は可成御申合せの上團體にて願上候何品に限らず可成多く相廣候へば鐵道インコンメンダ送りに可致候故到着に間違を生せずまた速達の便も有之候御注文の序に外人の品物も合せて御注文相成候節は直に買集め合荷の上御發送可申上候

◆新荷到着御案内

上茶種子麻布たね

夏そばもち粟お多福豆絹皮いんどう水稻もち稻以上穀物種子時なし大根美濃早生赤二十日白二十日長形二年子二ツ寺夏大根以上の大根種子は一合四ミル丸尻宮重長太宮重櫻島方領甘太以上一合三ミル女王カブ時ナシカブ大丸カブ天王子カブ大長カブ黄金カブすわりカブ赤カブ聖護院カブ大王白菜ちりめん白菜しやくし菜朝鮮白菜山東菜直隷白菜千筋京菜三河島菜新菊ほうれん草ちりめんほうれん草ブダン草大ひよたん九十日玉菜早生玉菜羽衣玉菜子持玉菜十六サヽゲ廿六サヽゲ五尺サヽゲ八房いんげんうづらいんげん鈴成いんげんふじ豆南部大長なす清岡二尺なす佐土原大長なす大丸なすみゞ菜牛蒡金時人參三寸人參水瓜千成まくわ大甘瓜きうり千成大長各種とうがん大白瓜青瓜夕顔八ツ房とうがらし夏太ねぎ百目ねぎ白黑金胡麻一切の種子一包一ミルより

大輪金鶏草赤化亞麻黑種草小町草水仙翁矮矢車香藥花環菊大輪月見草朝顔各種一包五百レース以上花種子井上英和大辭典一冊拾四ミル井上和英辭典一冊拾ミル送料一冊一ミルフラジル語獨習一冊送料共六ミル

◆土佐鋸片地黑打

尺八寸拾六ミル二尺二十ミル二尺二寸二十四ミル二尺四寸貳十六ミル二尺六寸三十ミル二尺八寸三十五ミル三尺四十ミル同ヤスリ一ミル特大一ミル二百極上大工鋸八寸立歯八寸横歯拾ミル笹歯尺物十二ミル尺一寸拾三ミルケツリスミ五十グラム一ミル五百青砥石八ミル小荒砥石五ミルカミソリ砥石拾ミル斬髪器バリカン拾二ミル豆腐原料ニガリ一キロ四ミルコンニヤク粉一キロ拾ミル

各地に取次所募集す

◆御注文は總て前金に限る

ブラジル時報市内申込所

聖市コンデ
サルゼーダス街五一番

木藤商會

大澤醬油取次所 KIDO SHOKAI
Caixa Postal 1466
R. C.Sarzedas 51
S. Paulo

故高桑治平君

香山六郎

高桑君は酒屋の若旦那と生れた性かほんとに酒が好きであつた。大酒漢と云ふ程ではなかつたが能く飲んだ人である。飲めば陶然としてトコトツト、と唱ふ。唱いながら何處までもトコトツトト……である。起ち上つてもトコトツトトで足拍子手躍面白く眞面目に跳ね廻つて一息氣ついた處で首から上崩れんばかりに呵々大笑するのが得意の癖であつた。こゝ一兩年君は市に僕は田舎に燻つて互に相會ふの期尠く、そうしてモー永遠に其嗽咳に接し得ずなつてしまつた。

回顧すれば明治四十一年笠戸丸甲板上で青春の男が五人あつた。今西原さんの農園に居る片岡君を筆頭としてピラコスチナに居る矢崎君、それから故鞍谷君、高桑君、僕と何れも當年の若漢であつた。第一回移民當時の通譯五人男の裏面にこんな自由氣儘放住な五人男が居た事は今も尚ほ人の知らない面白い對象である。通譯五人男の内仁平君と平野君とが逝つてしまつた如く氣儘男の五人組の内先づ鞍谷君が去り今年の七月十四日の新宇蘭盆に高桑君を亡ふてしまつた。高桑君の次が誰だろふか。僕だろふと云ふ氣がせぬでもない。酒の高桑君の裏面には和歌の秋の人空花があつた。君に言はせると君の和歌が日本正統の敷島の道であるそうだが與謝野晶子に師事て居られた事は否む術もなかつたらしい。君の和歌と端歌の内で世間に餘り知られて居らぬ一二を茲に紹介するのも君を弔ふものゝ一つであらう。

一、吾等のみ戀語るかはあの瓦斯の乘れし柳のベンチを見ずや。

一、秋風に髪吹かれつゝ三合の米磨ぐ女あまり瘠せたる。

一、公が鞠にゆらぎて花の散りにしと歌さゝげたる姫美しき。

こんな和歌もある。うたつた主人は又その歌に偲ばるゝ人となつた。

一、梅のぞく病院の窓帳して永き眠りの君をし忍ぶ。

一、此世容るゝ吾幸來なば酒にかく醉狂の名は永久にぞ消えん。

同十間に君の作として知られて居る端歌は

テイテ河畔秋蘭けて今宵も出でゝ來し弦月に、影と二人で佇みつ。故郷を偲べば唯蟲の聲。

來伯當時君が所謂影と二人で佇んで居た意氣は壯であつた。リオ州の山中の殖民地生活、マトグロソの天幕生活、鐵道工夫時代、僕にマトグロソで初めてドルメント擔をこうするんだ君と敎へて呉れ其相棒をして呉れたのも治平さんであつた。それからマレータに寢つて寢込んで居る僕の枕元にマルメラーダの大鐘を持つて來て僕を慰めて呉れたのも君であつた。

何事にもズボラな僕等に引きかへて君は仲々の几帳面で清潔家であつた一寸でも暇があると靴下を洗つたり襯衣を洗つたり鬚を剃つたり靴を磨いたり何んでも埃のつくのが氣にかゝる性分でコソ〳〵と起つたり据たりして精を出されて居たが不潔で無精で粗漏な僕は碌々として生を辿つて居る。

騎兵軍曹であつた君は日露の役に出征し將校斥候勤務中あの滿洲の何處かのコーリオの畑中で敵の斥候と打突つて臀部に拳大の刀痕を印されて居られた、きけば遁げぎはを露助の大刀でやられたんだと何時も話されて居た。

その『遁げぎは』と話さるゝ處に一種の風味のある聲がして臆病で遁げたのやら義務を果す爲め逃げたのやら狼狽へたまゝ遁げたのやら其遁けねば狂はしい程濃艶な女がほしいなかつた、深刻と濃厚な刺激が欲しい、狂はしい程濃艶な女がほしい『タイス』のやうな……そうして露骨に意志表現を遠慮なく云ふやうな女と語り明して見たい、谷崎式な凄艶な女が得たい、もし此の條件を具備して居る女があつたら自分は如何にして居る女があつたら自分は如何に立派に證據立てられた、それを思ふと達雄は未だ娘々らしいその顔が一層憎らしくなつて來るのを覺えた。

こんな事を昨今考へる程空虛と寂莫の影に包まれて居る、是れも時子と別れてから精神的に受けた損失だと達雄自身は知りつゝその空虛と寂莫とは譬し得なかつた、達雄は滿たされた、谷崎式な凄艶の時分から心易い待合の女將の甘言に釣られて待合入りをしたと云ふ事が立派に證據立てられた、それを思ふと達雄は未だ娘々らしいその顔が一層憎らしくなつて來るのを覺えた。

こんな事を昨今考へる程空虛と寂莫の影に包まれて居る、是れも時子と別れてから精神的に受けた損失だと達雄は達雄自身は知りつゝその空虛と寂莫とは譬し得なかつた、達雄は滿たされた、谷崎式な凄艶通された、女が達雄の出張中に藝妓者も亡國民だが悲觀をしらぬ者も亡國民でないか

自然を征服すると云ふ言葉を聞くがそれが人間の使命である、だから征服する所に人としての自然がある善惡も愚賢もあるゆるすべてが自然である皆必用である、取捨よろしきを得て一向にすべからず、時にかなふのみ、實にそうだそこに努力あつて調和ありあらゆる總て人としての自然がある私はそうだと深く感じた

革命に謳歌し得る人であつた。

星霜は移つて君がリオ州マカエの山中に邦人殖民の第一聲を擧げ細く長く狹く痛み苦しまれてから業に十年の時が流れた。そうして今將に邦人殖民期の第二節に移らんとして居る際僕等が相變らず食糧難、天候難、病魔難と闘つて君がマカエ山中に苦んだ徑路を辿つて居る際君の健康へ容すなら一日も早くイタコロミーの森に入つてお互に又苦しまうと覺悟して居られた僕等の一親友であつたのに、君は寂然と逝てしまはれるけれど何事もエンテンデして慰め合ふ君を亡ふ事は生きて居る僕等には堪へ難い寂しさの憾が續く。

文藝

過ぎにし緣

芳郎

『自分は近頃少しも落着いて居られない……今少し執着がなくては……』

何にかに對して空虛と寂莫とを感じて居た、普通有りふれたものではその空虛を滿たし得ない、その寂莫を慰し得ない、平常好きな芝居すら玩具箱を轉覆した樣としか思はれない義太夫、活動とて半時間と落着いて聞たり見たり出來ない結局華かな場面と反比例してその寂莫の度が增すに過ぎなかつた、有りと有ゆる努力も結局空虛と寂莫の度を增すに過ぎなかつた、深刻と濃厚な刺激が欲しいのだと思つてか……

『ナゼ……いけない……』

達雄は沈默つて凝ゐと女の態度を見子を見て、その儘默つてしまつた。それから二三日後時子は

『妾……また姐さんに賴んで見るわねエ……丁度暮れでまだ松の内があるから必ず姐さんも承知してよ……』

と男の顏色をのぞきながら甘いた風姿をした。

『また藝妓の……？』

驚いたと云はんばかりの樣子を達雄は示した、時子は男が自分の再勤に驚いたのは多分自分を許して呉れるのだと思つてか……

『ナゼ……いけない……』

達雄は沈默つて凝ゐと女の態度を見三と數へて居る隨分と危ないものだ悲觀する者は亡國の民だと云ふけれ共悲觀なくして樂觀はない悲觀する

『妾……また姐さんに賴んで見るわねエ……丁度暮れでまだ松の内があるから必ず姐さんも承知してよ……』

と男の顏色をのぞきながら甘いた風姿をした。

『また藝妓の……？』

驚いたと云はんばかりの樣子を達雄は示した、時子は男が自分の再勤に驚いたのは多分自分を許して呉れるのだと思つてか……

『ナゼ……いけない……』

達雄は沈默つて凝ゐと女の態度を見三と數へて居る隨分と危ないものだ悲觀する者は亡國の民だと云ふけれ共悲觀なくして樂觀はない悲觀する

『自分は近頃少しも落着いて居られない……今少し執着がなくては……』

何にかに對して空虛と寂莫とを感じて居た、普通有りふれたものではその空虛を滿たし得ない、その寂莫を慰し得ない、平常好きな芝居すら玩具箱を轉覆した樣としか思はれない義太夫、活動とて半時間と落着いて聞たり見たり出來ない結局華かな場面と反比例してその寂莫の度が增すに過ぎなかつた、有りと有ゆる努力も結局空虛と寂莫の度を增すに過ぎなかつた、深刻と濃厚な刺激が欲しいのだと思つてか……

『ナゼ……いけない……』

達雄は沈默つて凝ゐと女の態度を見三と數へて居る隨分と危ないものだ悲觀する者は亡國の民だと云ふけれ共悲觀なくして樂觀はない悲觀する

を感じつゝ寒い暮の町を歩いて居た

『けれども、お前が僕に要求したことぢやないか、お前は別れやうと云ふ程ではなかつたが能く飲んだ人である。飲めば陶然としてトコトツト、と唱ふ。唱いながら何處までもトコトツトト……である。起ち上つてもトコトツトトで足拍子手躍面白く眞面目に跳ね廻つて一息氣ついた處で首から上崩れんばかりに呵々大笑するのが得意の癖であつた。こゝ一兩年君は市に僕は田舎に燻つて互に相會ふの期尠く、そうしてモー永遠に其嗽咳に接し得ずなつてしまつた。

回顧すれば明治四十一年笠戸丸甲板上で青春の男が五人あつた。今西原さんの農園に居る片岡君を筆頭としてピラコスチナに居る矢崎君、それから故鞍谷君、高桑君、僕と何れも當年の若漢であつた。第一回移民當時の通譯五人男の裏面にこんな自由氣儘放住な五人男が居た事は今も尚ほ人の知らない面白い對象である。通譯五人男の内仁平君と平野君とが逝つてしまつた如く氣儘男の五人組の内先づ鞍谷君が去り今年の七月十四日の新宇蘭盆に高桑君を亡ふてしまつた。高桑君の次が誰だろふか。僕だろふと云ふ氣がせぬでもない。酒の高桑君の裏面には和歌の秋の人空花があつた。君に言はせると君の和歌が日本正統の敷島の道であるそうだが與謝野晶子に師事て居られた事は否む術もなかつたらしい。君の和歌と端歌の内で世間に餘り知られて居らぬ一二を茲に紹介するのも君を弔ふものゝ一つであらう。

一、吾等のみ戀語るかはあの瓦斯の乘れし柳のベンチを見ずや。

一、秋風に髪吹かれつゝ三合の米磨ぐ女あまり瘠せたる。

一、公が鞠にゆらぎて花の散りにしと歌さゝげたる姫美しき。

こんな和歌もある。うたつた主人は又その歌に偲ばるゝ人となつた。

一、梅のぞく病院の窓帳して永き眠りの君をし忍ぶ。

一、此世容るゝ吾幸來なば酒にかく醉狂の名は永久にぞ消えん。

同十間に君の作として知られて居る端歌は

テイテ河畔秋蘭けて今宵も出でゝ來し弦月に、影と二人で佇みつ。故郷を偲べば唯蟲の聲。

來伯當時君が所謂影と二人で佇んで居た意氣は壯であつた。リオ州の山中の殖民地生活、マトグロソの天幕生活、鐵道工夫時代、僕にマトグロソで初めてドルメント擔をこうするんだ君と敎へて呉れ其相棒をして呉れたのも治平さんであつた。それからマレータに寢つて寢込んで居る僕の枕元にマルメラーダの大鐘を持つて來て僕を慰めて呉れたのも君であつた。

何事にもズボラな僕等に引きかへて君は仲々の几帳面で清潔家であつた一寸でも暇があると靴下を洗つたり襯衣を洗つたり鬚を剃つたり靴を磨いたり何んでも埃のつくのが氣にかゝる性分でコソ〳〵と起つたり据たりして精を出されて居たが不潔で無精で粗漏な僕は碌々として生を辿つて居る。

騎兵軍曹であつた君は日露の役に出征し將校斥候勤務中あの滿洲の何處かのコーリオの畑中で敵の斥候と打突つて臀部に拳大の刀痕を印されて居られた、きけば遁げぎはを露助の大刀でやられたんだと何時も話されて居た。

その『遁げぎは』と話さるゝ處に一種の風味のある聲がして臆病で遁げたのやら義務を果す爲め逃げたのやら狼狽へたまゝ遁げたのやら其遁けねば狂はしい程濃艶な女がほしいなかつた、深刻と濃厚な刺激が欲しい、狂はしい程濃艶な女がほしい『タイス』のやうな……そうして露骨に意志表現を遠慮なく云ふやうな女と語り明して見たい、谷崎式な凄艶な女が得たい、もし此の條件を具備して居る女があつたら自分は如何にして居る女があつたら自分は如何に立派に證據立てられた、それを思ふと達雄は未だ娘々らしいその顏が一層憎らしくなつて來るのを覺えた。

こんな事を昨今考へる程空虛と寂莫の影に包まれて居る、是れも時子と別れてから精神的に受けた損失だと達雄自身は知りつゝその空虛と寂莫とは譬し得なかつた、達雄は滿たされた、谷崎式な凄艶の時分から心易い待合の女將の甘言に釣られて待合入りをしたと云ふ事が立派に證據立てられた、それを思ふと達雄は未だ娘々らしいその顏が一層憎らしくなつて來るのを覺えた。

こんな事を昨今考へる程空虛と寂莫の影に包まれて居る、是れも時子と別れてから精神的に受けた損失だと達雄は達雄自身は知りつゝその空虛と寂莫とは譬し得なかつた、達雄は滿たされた、谷崎式な凄艶通された、女が達雄の出張中に藝妓者も亡國民だが悲觀をしらぬ者も亡國民でないか

自然を征服すると云ふ言葉を聞くがそれが人間の使命である、だから征服する所に人としての自然がある善惡も愚賢もあるゆるすべてが自然である皆必用である、取捨よろしきを得て一向にすべからず、時にかなふのみ、實にそうだそこに努力あつて調和ありあらゆる總て人としての自然がある私はそうだと深く感じた

一言を待つてゐたのだ。

＊　＊　＊

そうして別れたのも丁度今晩のやうな寒い晩であつた、かうした女との別れの關係を次から次へと思ひ浮べながら何處と當てもなく歩いて行くのであつた。

何時とはなしに自分は今時子の再勤居ると云ふ細い路次の家の前に立つて居た。

御神燈の淡い灯影が更け行く寒い冬の夜に……寂しそうに……

感ぜし儘に

西の村生

そうして別れたのも丁度今晩のやうな寒い晩であつた、かうした女との別れの關係を次から次へと思ひ浮べながら何處と當てもなく歩いて行くのであつた。

何時とはなしに自分は今時子の再勤居ると云ふ細い路次の家の前に立つて居た。

御神燈の淡い灯影が更け行く寒い冬の夜に……寂しそうに……

なるがまゝに〳〵、私はかく心につぶやきながら獨りうつむいて歩んで居るそして壯なるまゝには時々私に自暴自棄の心を起させるどうにかなるんだ馬鹿氣た、こんなに思つて、秩序正しい考へを破らうとする時がある然しよく考へて見れば歩まずして道の運ぶる筈もない、何事か目的の爲めに歩むのだ人事を盡しつゝなるがまゝにぞなければならんそれ位の事は私にもわかつて居つてなるがまゝにの解釋を又しても問違へたがる

慾ど云ふものは時の流れと同じ事だ今日は斯うして明日は彼れして明後日はどうして來年は何しても、それからそれと逐ふて居る何ぞ斗らん夕に白骨となるやもしれぬと云ふて慾はなければならず

人生は砂上の樓閣だと云ふが眞實だ數學が何程進歩しても○を割出す事が出來ぬ其○を土臺にして一、二、三と數へて居る隨分と危ないものだ悲觀する者は亡國の民だと云ふけれ共悲觀なくして樂觀はない悲觀する者も亡國民でないか

自然を征服すると云ふ言葉を聞くがそれが人間の使命である、だから征服する所に人としての自然がある善惡も愚賢もあるゆるすべてが自然である皆必用である、取捨よろしきを得て一向にすべからず、時にかなふのみ、實にそうだそこに努力あつて調和ありあらゆる總て人としての自然がある私はそうだと深く感じた

農産物 食料品 農具

一切委托賣買

紐育養老生命保險會社代理

最新流行 **北米式勞働服販賣**

（丈夫にして廉價）

委細の點は左記へ御一報あらば御返事申上げます

事務所

Dubê & Bittencourt
Rua 15 de Novembro, 6-Sob.

笹原憲次

Caixa Postal 1427
Rua Conde de Sarzedas, 48
S. Paulo

旅館開業

サントス唯一の日本人旅館
清潔で、安くて、親切です

成功館

古謝將義
我那覇宗輔

Largo 7 de Setembro, 15
Santos

古袋販賣

古サツコ取次販賣開始致候間不拘多少御用命之程願上候

岡本雜貨店

Rua dos Estudantes, 81
São Paulo

福岡縣浮羽郡舟越村

尋人

行德三次郎

（東洋第二回移民）

家長田中勝次郎氏本年七月十一日グリツペにて聖市サンタカーザに於て死去遺族の跡始末相談したし、本人の現住所御存知の方は左記へ御一報を乞ふ

田中綱太

Faz. Barbosa
Est. Ourinhos
L. Sorocabana

廣告

本組合ノ目的ハ廣大ナル沃土ヲ有スル『ミナス州』、『ゴヤス州』及其他ノ地方ノ農業並ニ殖產業ノ就業者ニ對シ其適地ノ調査及契約ノ成立、資金融通、及其周施、共同販賣購入等萬事便宜ヲ計リテ本邦人ノ確固タル發展ヲ希圖ス

當組合定員希望者ハ左記事務所宛申込マル可シ

日伯產業組合

Syndicato Agricola Nippo-Brasileiro
Rua Commercio No. 150
Uberaba-Minas

美利具比殖民地

◉當社は水質良好、氣候溫和なる珈琲其の他の全作物に適する肥沃地にしてビリグヒ、アラサツーバの二商業地をさし控へたる絕好殖民地を廉價且つ拂込方法を最も容易にして日本人諸君に提供す

◉當社は千三百家族の各國土地購入者を有し其の中三百家族の現住日本人あり、創設以來日尙淺きにも不拘道路四通八達し且つ兒童敎育機關の設備等あり益々同胞の永住的基礎を鞏固にす

◉當社は當地入殖者に限りバウルウ、ビリグヒ間の無賃乘車券を交付す

御用の向きは左記宛御照會ありたし

代理人　**宮崎八郎**

The San Paulo Land, Lumber & Colonization Co.
(Comp. de Terras, Madeiras e Colonização de S. Paulo)
Est. Birigüy. Linha Baurú-Itapura (antiga Noroeste)

31 de Agosto de 1919 No. 101

Noticias do Brazil

大正八年八月卅一日　日曜日　第百一號

長篇講談

条平内

第四十五席　お里眞の助五郎を懲らす事

お里は『ア、厭な男が入つて來た』とは思つたが面にも現はさず　里『ハイ入らしやいまし、何を差上げます』男『イヤサ姐さん買物ぢやごわせん、成る程どうも話に聞いたより大した縹緻、聲は鶯姿は梅か、是れぢや殿樣がトンとお出でなすつたも無に成らうぢやアねえか』とハヤ無遠慮にも見世へ上がり込んで銅造りの長脇差を引付け、お節とお里の顏を半々に見較べて居る、お節は心の中で　せつ『ア、困つた奴が來た哩、お何を仰しやてゞございます、御用の筋は……』男『少しお前のお父さんに逢ひてえ用があつてやつて來やしたんだな、オイ許して呉んねえよお氣に障つたら許して貰ふとして、コーツと、お母さんは居るだらう』里『母は居りますでございますが、何ういふ御用か一應私が承はつて母に申します程に仰しやつて下さいまし』男『エーイ分らねえ娘だな、お前に話せる位なら何も親父だの阿母だのと言やアしねえ、居るなら早く出しや』と、煙草盆を引寄せて懷中から取り出したテツカ煙草入、刀豆の煙管でバクリバクリと煙を輪に吹く憎體面は挺でも動かぬ面魂、奥に針仕事をして居た母のお節は夫れへ靜かに出て參り　せつ『これは〳〵誰方樣かは存じませんが、切望お靜かに遊ばして下さいまし』と言はれて彼の男少しく容儀を正し　男『ヤツお前さんが此のお娘御さんの阿母さんかね、小哥ア狼の助五郎といふ町奴名前は恐ろしいが至つて佛のやうな男でございやす、今日來たのは外ぢやアねえ、お出入りの白柄組で左る殿樣のお目に止まつた此方のお娘、是非お部屋に抱へたいとの御所望、それで小哥が話しに來たのさ、コウ何もそんなに苦蟲ゃ噛潰したやうな顏をしなくても好い、支度の金子は五十兩、其の上兩親は引取つて左團扇の樂隱居、氏なくして乘る玉の輿斯んな巧え話を持込んで來たのだから美しい此のお娘の酌で一杯御馳走で、定めて對手は詰らねえ者だと思つて居るんだらうが、何うして〳〵聞いて驚いちゃ可けねえよ、實ア此のお娘を見初めた殿樣てえのは水野十郎左衛門樣だ、旗本八萬騎の内で水野十郎左衛門樣といつちやア白柄組の大頭、何ッ高が浪人かい、エッオイ、成程欲はねえや、斯んな變な男が來たんカラ〳〵と高く笑つて　助『アハ、、、やアこの江戸で誰知らねえ者はありやアしねえ、其の水野樣に思はれて支度金五十兩、一割の五兩は仲人の小哥が貰ふとして、お負けに兩親を引取つて榮耀榮華の仕度三昧、どうだい大したものだらう、今日にも話が極まれば支度金は直ぐに下げてやらうとの有難え思召しだ、聞きやアねえか、斯うお娘、ウンと色好い返事をしなせえ

婦人欄

家庭と害虫（中）

きよ子

◆我が『時報』が移轉の爲めに二回休刊しましたので、何んだか申上ることが大分溜つた樣な心地がいたします、世の中に新聞と云ふ報道機關があつて、色々な出來事を報道して呉れます間は別段有難いとも感じませんが、夫れが休刊して報道を絶ちますと、大は世界の出來事から、小は足下の出來事まで、まるで闇暗となるのであります。

◆私は何も新聞記者の末席を汚してゐると云ふ譯からでもありませんが『時報』が發行すれば掛りの者が私の机上へ持つて來て呉れるのも待遠ふしく、自から工場へ飛込んで電報や社説や、雜報を始め、衞生欄や、講談に至るまで一字一句も殘さずに讀むを常と致しますが、自分の書いた以外の記事で新らしい事を知つたり面白味を感じたりすることは決して少なくないのであります。

◆所が日々二度の食事の次に需要する『時報』が、移轉の都合で二回も休刊したので、讀者も私と同樣に一種の缺乏をお感じになつたと思ひますが、私も是から更に一層の勉强をもつて、他の編輯員諸氏と共に紙面を賑かし、以て休刊の埋合せと、讀者姉妹の御厚意に酬ゆることゝを爲て見たいと思ひます。

◆前號にも申しました樣に、私共に取りまして何が一番大切かと申しますれば、どうしても健康を保つことを第一に置かねばなりませんが、人動もすれば少しの面倒を厭ひ此の位ひの事は捨ておいても宜からうと等閑に附する處から、時に大變な過ちが生ずるのであります、例へば既に述べました蚊の豫防を怠る爲めに恐るべき『マレータ』に罹るが如く、蠅の撲滅を計らぬ爲めに種々の傳染病に取りつかるゝ憂ひがあるのであります。

◆一體蠅は非常に强度の繁殖力を持ち、且つ好んで不潔物の上に止まり又私共の食品の上にも止まりますから、病毒傳播の上から云へば實に危險なものであります、何でも學者の調べた處によりますと、蠅の足に附着してゐる微菌は驚くべき多數のもので、少なくも數千、多い時には數萬からあると云ふことであります、平生どても注意すべきは勿論でありますが、殊に近所近邊に赤痢、窒扶斯、虎列刺等の傳染病者のあつた際には、絶對に一匹も食品に止まらせない樣に注意しなければならぬのであります。

◆誰も知る通り蠅の繁殖する場所は常に淸潔にし乾燥せしめ、塵芥の堆積せる場所なぞには時々石油乳劑を撒布して蠅の幼蟲の湧かぬやうにしなければなりません、無論蠅の撲滅を計るには一家又は一部落總懸りで行らねばなりませんが、特に臺所と食品とに密接の關係ある吾々女共は、是から暑さに向ふに伴れ襲ひ來る蠅群の退治に十二分の注意を拂はねばなりません。

ANTUNES DOS SANTOS & COMP.

AGENTES DAS COMPANHIAS

NIPPON YUSEN KAISHA :: OSAKA SHOSEN KAISHA

大阪商船會社定期船

●はわい丸

七月廿三日神戸出帆

九月十六日サントス着豫定

御用の方は左記の中何れかへ御照會ありたし

伯刺西爾移民組合支部

(Caixa Postal 1082)

Rua Vergueiro 15. S. Paulo.

アンツーネス、ドス、サントス會社

(Caixa Postal 237)

Rua Libero Badaro 93. S. Paulo.

移轉廣告

本日左記之所へ移轉致候

Rua Duque de Caxias No. 112

Ribeirão Preto

郵便函番號、電話番號、電報略號ハ左記ノ通ニ御座候

Caixa Postal No. 290

Telephone No. 537

End. Telegraphico

"IMINKUMIAI RIBEIRAO PRETO"

大正八年八月一日

伯刺西民移民組合支部

リベロンプレト出張所